

## 2021年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.1）

### 問題Ⅰ 次の本文を読んで、後の質問に答えなさい。

模範的な英語や英会話の教科書によれば「あなたは水がほしいですか?」という問いは、たぶん“Would you like to have a glass of water?” といったことになるのだろう。しかし灼熱の砂漠をさまよってきた旅人にこんなめんどくさい模範的会話で質問するバカはいない<sup>1</sup>だろう。常識ある人間<sup>2</sup>なら、なにもいわずにいっぱい水をさしだす。それでいいのである。

じっさい「水がほしいか?」という質問には いろんな変種がある。いくつかを列挙すると、

「おひやおもちいたしましょうか?」

「水を飲みたいですか?」

「水、飲む?」

「水?」

このほかにもいろんないいかたがある<sup>3</sup>だろう。だが、最低限必要という点からいえば「水?」だけで間にあう<sup>4</sup>。相手や場面によっては、まことに素っ気なくて乱暴ないいかたかもしれないが家族やしたい友人どうしなら、「水?」だけでじゅうぶんだ。語尾をやわらかくあげてはなせば<sup>5</sup>、知らないひとを相手にしたときでもそんなに失礼ではあるまい。教則本のとおり会話というのはしばしば滑稽なのである<sup>6</sup>。いや、ここであげた用例はじつのところ教則本からみればまちがっている。教科書的にいえば、「あなたは水を飲みたいですか?」

ということになるのだろうが、こんなところで「あなたは」などということばがでてくるとかえっておかしい。

日本語にかぎらず、およそ「ことば」というものはまずおたがい「通じる」ものでなければならぬ。「通じる」ための基本は簡潔であることだ。もってまわったようないいかた<sup>7</sup>をしないで、必要最低限のところからはじめる。どんな言語でもそれが「通じる」ための基本条件である。水がほしければ「水」というだけでも通じるだろう。ちゃんと「水をください」とか「水がほしいのです」などといわなくたって<sup>8</sup>、表情や前後の関係からたいてい察しはつく。主語と述語といっためんどうな文法規則にのっとった文でなければ理解できない、というのはよほど鈍感な人物である。そんなひとをわたしは相手にしたくない。

こういうことをいうと言語をそんなに簡便かつ乱暴にあつかってはいけない、日本語であろうと英語であろうと、時間をかけて語彙や文法をしっかり勉強しなければモノにならない、という反論がでてくるであろう<sup>9</sup>。しかし、もしも「通じる」ということがことばの基本的機能であるとするなら、正式な文法学習などあんまりだいじではない。

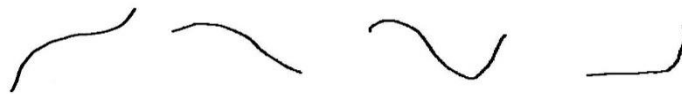
第二次大戦後、アメリカ軍の占領下におかれた日本では米兵のすがたをみつけると、すぐにそばにいて「ギブ・ミー・チョコレート」とチョコレートをおねだるこどもたちがたくさんいた。こういうことばを口にしてた日本のこどもが「ギブ」が動詞であり「ミー」が一人称目的語であり、そして「チョコレート」が名詞であって、この文の構造じたいが一種の命令形である、などとしちめんどくさいことを知っていたわけではない。とにかく「ギブ・ミー・チョコレート」という「音」を暗記していれば運よくチョコレートがもらえる、というだけのことだったのである。英語ができるなどと感心するにはおよばない。

## 2021年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.2）

- 問1 \_\_\_\_1はどのような意味かをわかりやすく説明しなさい。
- 問2 \_\_\_\_2の「常識ある人間」は、なぜ「なにもいわずにいっぱいの水をさしだす」ことができるのか。本文中の言葉を使って説明しなさい。
- 問3 \_\_\_\_3と述べられているが、ここにある以外の例として丁寧に言う場合と、くだけた表現で言う場合とそれぞれ1例ずつ挙げなさい。
- 問4 \_\_\_\_4が可能な理由を本文の内容に基づいて説明しなさい。
- 問5 \_\_\_\_5がどうなるのか、適切だと思われるイントネーションの図を選択し、図のどこに注目して適切だと判断したのか、その理由を説明しなさい。

イントネーションの図：      ①                  ②                  ③                  ④



- 問6 \_\_\_\_6と筆者が述べた理由を説明しなさい。
- 問7 \_\_\_\_7が使われることが多くなるのはどのような場合だと考えられるか。イ～ニの中から最も適切なものを一つ選び、その理由を説明しなさい。
- イ) 社長が社員に転勤を命令するとき。
- ロ) 医者が患者に薬の飲み方を説明するとき。
- ハ) 友だちにプレゼントをもらってお礼を言うとき。
- ニ) 友だちに空港まで迎えに来てほしいと頼むとき。
- 問8 \_\_\_\_8は話し言葉の表現である。書き言葉ではどうなるか。また、文章中でこのような表現を用いる理由を説明しなさい。
- 問9 \_\_\_\_9について、読者の中にどのような考えの人がいると想定して筆者が文章を書いているのかを説明しなさい。
- 問10 最後の段落で、筆者がアメリカ兵と日本の子どもたちの例によって述べようとしたことは何かを簡潔に説明しなさい。

# 2021年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.3）

## 問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

すでに一世紀をこえた明治らしい日本の歴史を振り返ってみると、トインビーの診断がまさにぴたりと当てはまる思いがします。というのは、多くの非ヨーロッパ文化圏国のなかで、日本だけが、少なくとも日本が一番、ヨーロッパ文明を採用することに成功しており、明治らしい一世紀余の日本の歴史というものは、ヨーロッパ文明、とくにヨーロッパの科学技術文明の採用に成功した歴史であるという一語に尽きるのではないかと思われるからです。これは、われわれの生活をみればよくわかります。

たとえば、黒四ダムができる。こういうことが自力でできる国は、欧米先進国かソ連以外ではないでしょう。ヨーロッパ文明を採り入れることによって、日本の生産力は、ヨーロッパ諸国をはるかに抜き、アメリカ、ソ連についでいる。この事実、世界史の大きな流れからみて、驚くべきことではないかと思うのです。

ヨーロッパ文明の支配時代に、日本はヨーロッパ文明の採用に最も大きく成功し、成功することによって欧米列強の植民地となることを免れた。この点日本は、おそらく世界に類のない国ではないかと思えます。そこに明治日本の偉大さがあるといえましょう。

日本が、このようにヨーロッパ文明の採用に成功した理由はどこにあるか。かつての日本は、直接間接にインドや中国から多くの文明を採り入れました。いつも日本は心を虚しゅうして外来の文明を採り入れてきました。これは特異なことです。トインビーは日本の西洋文明摂取をサルマネだといいますが、私はそうだとは思いません。すでに長い過去において、よその文明を学んだ多くの経験があるわけです。この経験なしには、まねようとしてもまねうるものではありません。

明治時代に、英語に返り点と送りがなを振った。それは漢文を読んだ経験がものをいったわけです。つまり千数百年にわたって外国文化を採り入れてきた経験があり、そのことがヨーロッパ文明を採り入れる際にもみごとに実を結んだわけです。それと同時に、日本の幕末から明治にかけての指導者の鋭敏な時代感覚がものをいっている。吉田松陰、坂本龍馬など、命を犠牲にしてもこの点に努力した人の力がある。こうして日本は西歐化近代化にふみきり、この点で優等生となった。

ところが、そういうヨーロッパ文明を採用することが日本の大きな目標だった反面、その目標によって忘れられたものがあります。たとえば教育の面から考えてみますと、日本の中等教育の中心は英語・数学におかれている。日本人の必修教養というのは英語・数学ということになっています。大学へ入るには、明治らしい、英語と数学ができなくてはいけない。

もともと、英・数というのは、ヨーロッパ文明を採り入れるための技術学だったと思うのです。しかるに、その技術の学が教育の中心になってしまった。これこそ、明治以来の教育において大問題とすべきことでしょう。日本の教育は、このことをなんとも怪しまずにきたわけですが、これは日本の他の時代、あるいは他国の教育体系と比較してみると、私には異常であると感じられるのです。

たとえば、徳川時代の支配者の教育は儒教でした。四書五経を学ばせた。それは精神の学でした。決して技術の学ではなくて、それで支配者の精神を学んだのです。また民間の教育は寺子屋ですが、寺子屋は、読み書きソロバンとともに、というより、それ以上に仏教をおしえている。そのいずれもよしあしは別にして、精神的な教育がその中心にあります。

中国のばあいは科挙という制度があった。科挙の試験は作文一本やりで、それに合格することによってのみ政治家となっ

## 2021年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.4）

ていったのです。その作文で、知能や情操、判断力や想像力など一切の人間の能力がためされたわけです。受験生は文章一本で勝負したわけです。

ヨーロッパの教育体系も問題ですが、ヨーロッパには人文主義の伝統があり、やはり教育というものは、まず精神的な文化を身につけることが第一の目的だと思います。ヨーロッパ人と会って感じるのですが、政治家・実業家でも豊かな文化的教養をもっている。シェークスピアを読み、ベートーベンを聴く。そういう文化人をつくるのが教育の目的です。しかるに、近代日本はちがう。そういう教養人より西洋の科学技術文明をできるだけ早く吸収する実用人の養成が教育の目的となる。たいへん競争には強く、専門的な知識をもっているが、精神性をもたない人間、そういう人間が明治以降特に戦後、一流の教育機関で育てられる。

注 黒四ダム 黒部ダムの通称。富山県の黒部川上流にある水力発電用のダム。

吉田松陰 明治維新をもたらした幕末の志士たちを指導した思想家・教育者。

坂本龍馬 江戸幕府を倒幕し、明治維新をもたらした幕末の志士の一人。

出典：梅原猛（1976）『日本文化論』講談社学術文庫より抜粋

問1 下線部「日本が、このようにヨーロッパ文明の採用に成功した理由」について、本文の内容をもとに70～100字でまとめなさい。

問2 本文から筆者の主張を読み取って200～300字でまとめなさい。

問3 日本の教育についてあなたはどのような印象を持っているか。そのことを筆者の考えと比較しながら述べなさい。